

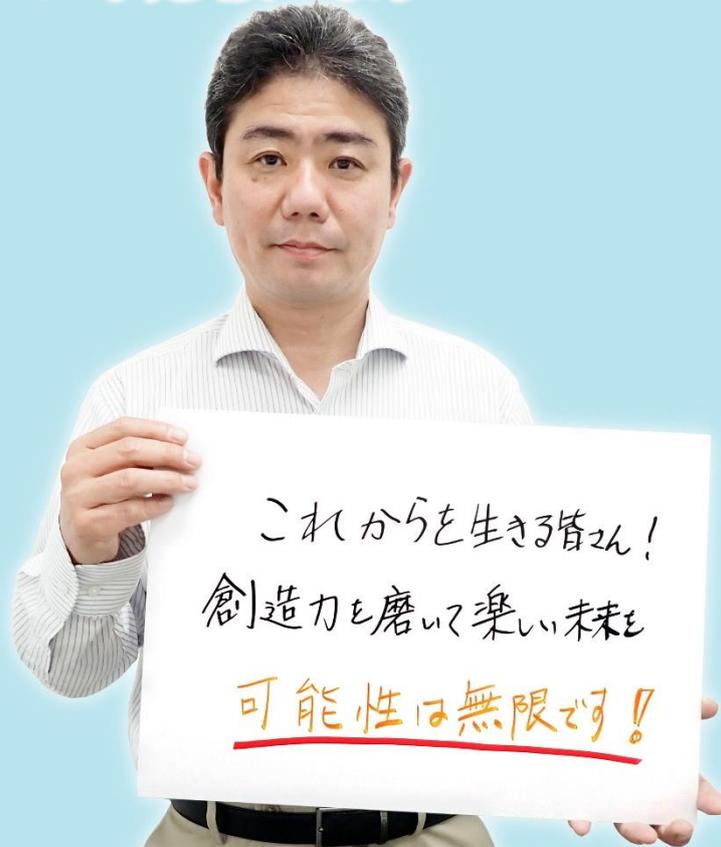


ボラン・て

6月

「ボラン・て」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～



NPO法人障害者就労支援センターどんまい福祉工房は、杉並ボランティアセンター「地域福祉活動費助成金」チャレンジ応援助成を活用して、中学生の放課後居場所づくり、長期休暇中のお弁当無料配布を行っています。

【特集】

NPO法人 障害者就労支援センター どんまい福祉工房

あずみ かずなり

事務局長 安住 一成 さん

3面・・・センターからのお知らせ

裏面・・・使用済み切手が不足しています

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

【特集企画】

地域づくりの最前線 ～そのチャレンジ！応援します～

「NPO法人障害者就労支援センターどんまい福祉工房（以下「どんまい福祉工房」）」は、障害者の就労・生活支援をする就労継続支援B型事業、就労移行支援事業を行っています。また、公共施設（ゆうゆう天沼館、コミュニティふらっと馬橋）の運営管理業務受託事業も行っていきます。

団体の活動内容について

就労支援の団体を設立したのは2006年。知的・精神障害の方が高校等卒業後すぐ就労することの厳しさ、障害を持っていることを隠す傾向にあることを感じたからです。隠すのではなくあえて障害者はこんなことができる、と広めていこう。また就労の可能性を訓練して伸ばしていこう。その2つの想いで団体設立しました。

商店街の清掃やフラッグの交換といった、地元商店街からの仕事が多いです。就労支援継続B型事業に利用期限はないのでずっと働くこともできますが、就労移行支援事業の方は2年以内に一般就労に繋げることとなります。国で定めた法定雇用率が上昇したのもあって、企業が障害者を雇用するようになってきました。スキルの高い子はどんどんそちらを選び、結果、就労移行支援事業を受ける子たちが重度化している傾向にあります。そのため、一般就労に繋げるのが難しくなっています。また、障害者への理解を広げていこうとゆうゆう館等の受託も行っています。高齢者の苦しい作業を障害者が行う、逆に、障害者の苦しい作業を高齢者が行うというようなことを実現できないかと考えたのが受託のきっかけです。ただ、高齢者の施設だとどうしても後期高齢者の方ばかりになってしまいます。これからはいろいろな世代の方が来てても良い施設だということを周知しなければならぬと思っています。

チャレンジ応援助成金の対象事業について

（1）中学生の居場所「寺子屋学ぼう」

受託しているゆうゆう館で小学生向けの事業を何度か行ったことがあります。その子たちが中学生になり、話す機会があったときに、中学生が行く場所がないと気がつきました。そこで中学生の居場所づくりをコミュニティふらっと馬橋で始め

杉並ボランティアセンターでは、「地域福祉活動費助成金」を通して、地域で活動する団体を応援しています。

今回はその中の一つ、チャレンジ応援助成団体※

「NPO法人障害者就労支援センターどんまい福祉工房」事務局長・安住一成さんに活動の様子をうかがいました。※チャレンジ応援助成とは…新規の活動を応援するための助成金。地域の方々からの善意で集まった歳末たすけあい運動募金が原資になっています。

ました。中学生は部活があり昼間は難しいため、夜のあまり遅くない時間で寺子屋のような居場所をつくりました。多いときで6～7人、少ないときも3人くらいは来てくれています。ほとんど中学2年生の子たちです。勉強を教えてくれる大学生は2～3人くらいいます。

（2）長期休暇お弁当無料配布事業

もうひとつ、見えない貧困問題があり、長期休暇になると給食がなくて食事をとれない子どもがいます。杉並区だと子ども食堂がありますが、活動している方に話を聞くと、そこに参加することでお金に困ってると思われたくないから行かないという場合や本当に困っている人に完全に手が届かない場合もあるそうです。他の団体がお弁当配布事業をやっていると聞いたので、その団体に教えてもらいながら自分の地区で活動しています。行政からの支援を受けているか、母子家庭か、コロナの減収があったかなど簡単なアンケートをとり、困っている人には配布期間中に指定した日に来ていただきその都度渡しています。ずっと継続できる事業ではないので、今後は本当に困っている方に向けてより多くの支援をしていきたいです。

地域づくりで目指していること

気軽に多くの方が施設に来て、困っていることがあれば誰かが助けるような地域でありたいです。寺子屋は中学生の居場所でもあり、家庭環境に関わらず同じように勉強できる場所です。いろいろな中学生が集まり、地域の大人がいて、自分の数年先の大人の姿を想像できる。その数年先の大人の姿である大学生に勉強を教えてもらい、それをかっこいいと思って、自分が大学生になったときに、もう一度寺子屋に戻って来て中学生に勉強を教える。そんな循環がひとりでもできればいいなと思います。

読者へのメッセージをお願いします！

この記事を見て、若者・大学生が自分もボランティアに関わりたいと思ってもらえたら嬉しいです。社会的課題に関わっていてかっこいいと思ってもらいたいです。中学生は勉強だけでなく、これが好きというものを拾って見つけて、可能性は無限に広がると期待しています。中学生に向けた専門家による講演も企画していますので、将来の自分の姿を想像して楽しい未来を築いてください。

NPO法人 障害者就労支援センター

どんまい福祉工房

〒167-0031 東京都杉並区本天沼1丁目24-9

TEL 03-3396-2881 FAX 03-3396-2892

▲（左右共）寺子屋「学ぼう」の様子



令和3年度に団体登録、情報通知登録をしていただいていた方・団体は、令和4年3月31日で登録期間が終了となりました。令和4年度も登録を希望される方・団体は、更新の手続きが必要です。



団体登録をしていただくと・・・

当センター団体登録要綱の条件を満たす団体は、登録が可能です。登録団体には印刷機や大判プリンターなどの機材貸出や広報活動の支援、当センターホームページへの掲載などを行います。

令和4年度団体登録票をご記入の上、添付書類を付けて当センターへご提出ください。
※当センターのホームページからも申請が可能です。

情報通知登録をしていただくと・・・

情報通知登録をしていただいた方には、情報紙「ボラン・て」を毎月お送りします。令和4年度情報通知登録票をご記入の上、当センター窓口へ持参、又は郵送でお送りください。以下のQRコードからも申し込みできます。

お問合せ

杉並ボランティアセンター
TEL: 03-5347-3939
✉: info@borasen.jp



ご報告

東京女子大学・留学生への授業

5月6日（金）、東京女子大学（杉並区善福寺）の授業に参加し、杉並ボランティアセンターの事業について説明させていただきました。

今後、留学生の方々が地域活動に参加され、その活動の様子をこの情報紙でレポートしていただく予定です。

【授業の感想を一部抜粋でご紹介します】

「母国と日本の地域活動を比較しながら聞くことができ深く考えることができました。」「福祉に興味はなかったが、今日の説明でボランティアの実質的価値を感じ、自分を反省しました」「これからもボランティアの魅力を知っていきたい」



▲授業の様子

Hello!

登録団体さ〜ん Vol.03

★杉並ボランティアセンターの登録団体を紹介するコーナー。団体登録受付中!

独自調査を展示発表
しています

◆特定非営利活動法人すぎなみムーサ

- ・活動内容：郷土博物館内「古民家」の運営・管理の受託、「街角博物館」活動、区内「史跡ガイドツアー」の開催等
- ・活動場所：杉並区内全域
- ・活動日時：随時



お問合せ

杉並ボランティアセンター
〒167-0032 天沼3-19-16
ウェルファーム杉並4階
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063
HP: http://borasen.jp/

ぼらせん.jp

検索



急募

使用済み切手が不足しています！

杉並ボランティアセンターでは、切手整理ボランティアの方が切手整理をしてくださっています。現在多くの方に参加していただいておりますが、現在その使用済みの切手が不足しています。切手のまわりのギザギザから1cm以上あるものを郵送または直接杉並ボランティアセンターへご持参ください。切手回収のご協力をよろしくお願いいたします。



【切手整理ボランティア】

日時：毎月第3水曜日 14:00～16:00

会場：ウェルファーム杉並

ご寄付いただいた使用済み切手は、ボランティアの方々に整えていただいております。いつも本当にありがとうございます！

▲このような状態のものを整えてくださっています。

特技さん（ボランティア）を活用しませんか？

お知らせ

杉並ボランティアセンターでは、一芸に秀でた方を「特技さん」として登録し、施設・病院や保育園で、特技を披露していただく方をご紹介します。



デイサービスで昼食前の30分、懐かしい歌や朗読を聞いて盛り上げます

特技さんからのメッセージをご紹介します

手品や大道芸、落語などほっこりできる特技を納涼会や各種イベントで楽しく活動しています

施設の飾りつけと一緒に作り、利用者の生きがいづくりとして、喜ばれています

特技さんに来てほしい施設、募集中です。杉並ボランティアセンターまでご連絡ください。

☆次号では特技さんのインタビュー記事を予定しています☆

次号予告

夏のボランティア体験 まもなく始まります！！

ボランティアのカタチも様々。コロナ禍でもできる活動はたくさんあります。

この夏、新しいことにチャレンジしてみませんか？

杉並ボランティアセンターが皆さんの“はじめの一步”をサポートします！

活動プログラムは7月1日（金）に杉並ボランティアセンターのホームページ

「ぼらせん.jp」に掲載します。7月15日（金）～申込フォームにて受付開始！



杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階

TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: http://borasen.jp



うえるくん
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日

8:30～17:00

* 祝日・年末年始はお休みです。



情報紙「ボラン・て」は、次の区内各所にも置いてありますのでご利用ください。区役所・区民集会所・区民事務所・地域区民センター・一部のゆうゆう館・図書館・駅スタンド（区内JR、地下鉄丸の内線など）・他